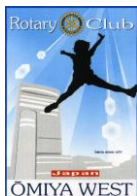


ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2022-23 年度 大宮西ロータリークラブ 週報

創 立：1963年 3月22日

会 長 小沢 孝

例会場：パレスホテル大宮

幹 事 榎本 貞寿

例会日：月曜日 12:30～13:30 クラブ会報委員会

小岩 淳一

第2746例会 2022/09/05

発行日 2022/09/12



イマジン
ロータリー

会長挨拶



会長 小沢 孝

皆様こんにちは！
今月は「基本的教育と識字率向上」月間です。世界には子どもたちが基本的な教育を受けられず、成人が十分に読み書きできない国や地域があります。そうした地域で基本的教育を提供し、識字率を上げれば、そのほかの

諸問題の解決（貧困の削減、健康状態の改善、地域社会と経済の発展、平和構築など）の糸口をつかむことができます。「基本的教育と識字率向上」は、ロータリーの7つの重点分野のひとつとなっています。

さいたま市児童養護施設 カルテット 施設長 佐取 幸一郎 様、ようこそお出でくださいました。後ほどご挨拶よろしくお願ひいたします。

さて、本日は、10月8日（土）に行われる「第4グループ合同奉仕事業」の準備例会です。この事業の後援であり、ご協力をいただいておりますさいたま市の、さいたま市教育委員会 教育長 細田 眞由美 様、さいたま市 都市局長 篠崎 靖夫 様、さいたま市 環境局長 佐野 篤資 様をはじめとする大勢のお客様をお迎えしています。当日の事業をさいたま市にとってもロータリーにとっても価値のある事業として実行していきたいと思ひます。

創立60周年を迎える大宮西ロータリークラブとして、今年度の新しい奉仕活動を紹介させていただきます。さとえ学園小学校の5年生の学習活動「ビオトーププロジェクト」に大宮西ロータリークラブとして関わり、教育の手助けをすべく取り組んでおります。目的は、自然環境と一緒に学びやSDGsなどを共に考えることです。効果としては、人間力を身につけ、協調性を得て、またお金を意識

して経済学にも及ぶと考えます。今、子どもが置かれているのは、核家族での環境です。両親が働き、家に一人、または兄弟がいても部屋が別々でゲームをするという状況。これで人間力が身につきますか？ だからこそ、周りに大人達の存在が大切ではないのでしょうか。私が2年間、生徒数3,000人規模の高校で保護者会長として携わっていた時、先生、保護者や学生の声を聞き、ロータリーや社会が関わる奉仕を考えてまいりました。新たな奉仕事業「教育の奉仕」として取り組んでまいります。大宮西ロータリークラブだからできたと思ひます。

今年7月、「さいたまエンジン」がスタートいたしました。参加企業5社の中に、当クラブから参加の企業が3社おります。私が思うに、会員115社の中で他に20社は推薦できる企業があるのではないのでしょうか。私の会社規模では無理でしょうから、可能性のある企業を支える形で協力していきます。

日本は、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる「ネイチャーポジティブ」というゴールを目指し、陸と海の30%以上を健全な生態系として保全しようとしています。“30by30”と呼ばれる目標の達成にあたっては、行政による自然保護地域の拡大が最重要ですが、民間取り組みも重要です。これから日本は、世界とどう付き合うか、自然とどう共存するか、経済よりどういう国を作るか、どういう街を作ることを優先するのか。先日8月8日の卓話で学びました。

ロータリーの新しい環境教育の奉仕を、日本から世界へ発信してまいります。もちろん、さいたま市と共に、環境都市さいたま、教育の街さいたまとして。以上、会長よりお願いを込めてご挨拶いたします。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

吉田 浩士 会員



60周年 新たな奉仕活動へ ～すべては好奇心から始めよう～

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com

HP: http://rc-omiya-west.com/



お客様紹介・米山記念奨学生紹介

- さいたま市児童養護施設 カルテット 施設長 佐取 幸一郎 様
- さいたま市教育委員会 教育長 細田 眞由美 様
- さいたま市都市局長 篠崎 靖夫 様
- さいたま市環境局長 佐野 篤資 様
(ご紹介：副会長 新井 清太)



幹事報告

幹事 榎本 貞寿

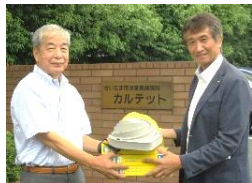
- ①国際ロータリー第2830地区(青森)より、ガバナー名で支援の要請がございました。8/3(水)からの青森県内豪雨により洪水や土砂災害で被害に遭われた方々へのお見舞いです。会員一人当たり500円以上×会員数の義援金要請です。皆様宜しくお願い致します。
- ②ガバナー月信9月号のP.10に、大宮西RCへのガバナー公式訪問の記事が、P.20に、新たな奉仕事業「教育の奉仕」として、環境教育委員会 委員長の緒方会員の投稿記事が載せられています。さつえ学園小学校のビオトーププロジェクトについてです。



- ④明日9/6(火)IM実行委員会が山下軒にて18:00より開催されます。実行委員の方はご参加宜しくお願い致します。
- ⑤今月のロータリーレートは、139円です。
- ⑥本日9/5(月)例会後に理事会となっております。理事役員の方はご出席お願い致します。

お客様ご挨拶

- さいたま市児童養護施設 カルテット 施設長 佐取 幸一郎 様
4月に着任いたしました。皆様、毎年、扇風機・自転車・災害用ヘルメットのご寄贈、ありがとうございます。
児童養護施設には、親が養育できない子がいます。虐待、経済的な理由や健康的な理由など家庭で暮らせない子たちです。カルテットには、2歳から18歳まで、現在41名が暮らしています。親が養育できない場合、高校卒業後は自立しなければならない状況です。機会があれば、見学にいらしてください。これからもご支援のほどよろしくお願いいたします。



誕生日祝い

瀬戸本 一雄 (5日)、川村 郁夫 (12日)、内山 泰成 (18日)、永井 伸剛 (18日)、松本 有祐 (19日)、新藤 耕四郎 (22日)、山田 修 (25日)、坂本 哲朗 (25日)、配島 信恵 (26日)、木田 耕司 (27日)、藤池 誠治 (29日)、林 正 (30日)

各会員



卒寿おめでとうございます

林 正 会員

本日はありがとうございました。1969年に入会し、53年めになります。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

傘寿おめでとうございます

藤池 誠治 会員

入会して約40年、誕生日のお祝いはいつも大先輩の林会員とご一緒でして、今回、初めてご挨拶させていただきます。ありがとうございました。



事業説明

- 社会奉仕委員会 委員長 苗村 康男

本日は、10/8(土)に開催されます、第2770地区第4グループ合同奉仕事業に向けての準備例会です。

まず、合同奉仕事業の主旨を申し上げ、その後にIM実行委員であり、会長エレクトでもある藤嶋剛史会員より事業内容のご説明をいただきます。

本事業は秋葉の森総合公園で、生態系保護から環境問題をテーマとして行います。ロータリー7つの重点分野の一つである「環境」から、生態系保護の必要性を考え、環境問題の意識向上の機会をつくりたいと考えております。この奉仕事業を起点に、各クラブ、会員のご家庭、各企業、小学生・中学生・高校生、地域の方たちへ、より一層の意識向上のきっかけとなれば幸いです。また、青少年育成三橋地区会との共催で、協力を埼玉県生態系保護協会 大宮支部にお願いし、後援として、さいたま市とさいたま市教育委員会にお願い致しました。大変有難う御座います。このあと、本日のご来賓にご挨拶を頂戴したいと存じます。また、本日は参加申込用紙を会員の皆様にお配りしています。皆様のご協力をよろしくお願い致します。



ご来賓ご挨拶

- さいたま市教育委員会 教育長 細田 眞由美 様
- さいたま市都市局長 篠崎 靖夫 様
- さいたま市環境局長 佐野 篤資 様



■ 青少年三橋地区会 会長 新藤 信夫 会員



当会は大宮区西地区の三橋中学校、三橋小学校、上小小学校の児童生徒を中心に育成活動を行っている団体です。当会では従来から子供たちの教育活動の一環として博物館を訪問するなどの事業などを行ってききましたが、コロナ禍にあって中止が相次ぎました。今年こそは身近な場所で親子が参加する自然観察会などを開催したいと考えていましたところ、ロータリークラブにおいて同等以上の企画を立ち上げるといことをお聞きし、参画させていただくことを申し出ましたところ御了承をいただいた次第でございます。

改めて、2770地区第4グループの「森を守ろう、自然を楽しもう」の事業に共催の形で参加させていただきますことに感謝申し上げます。近年、SDGsにも謳われているように、身近な自然を守り次世代に伝えていくことの重要性が強く言われています。親子で参加していただき、身近な自然に親しみ、将来に残していく意義を参加者に伝えていきたいと思っております。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

事業内容説明

■ IM 実行委員 会長エレクト

藤嶋 剛史

内山泰成ガバナー補佐輩出に伴い、第4グループおよびIM実行委員会へ
出向

- ・第4グループ幹事 十文字 裕司
- ・第4グループIM実行委員長 染谷 義一
- ・IM実行委員 … 藤嶋 剛史、小林 政良、石澤 孝幸
押野 一郎、苗村 康男、菊池 裕一



◆ 本年度ガバナーからの要請

- ・各グループで合同奉仕事業を実施し、11月の地区大会で発表。
- ・テーマはロータリーの7つの重点分野プラスポリオ根絶から選択すること。

◆ 第4グループの決定事項

- ・例年2月開催のIMのかわりに、環境をテーマにグループ全体事業を実施する。
- ・7つの重点分野の一つであり、SDGs (17の持続可能な開発目標) に含まれる、「環境」について、生態系保護の必要性を考える機会を作り、各クラブの会員、会員のご家族、各会員企業の社員の皆様、小・中・高校生や地域一般の方たちの環境問題の意識向上を図る。

第4グループ 合同奉仕事業

森を守ろう、自然を楽しもう

～生態系保護から環境問題を考えよう～

共催：青少年育成三橋地区会

協力：埼玉県生態系保護協会 大宮支部

後援：さいたま市、さいたま市教育委員会

日時：10月8日(土) 9:00～12:30(昼食 11:30～12:30)

※小雨決行 延期の場合は翌日9日開催

場所：秋葉の森総合公園 (さいたま市西区大字中釘 1241)

◆ 生態系について学ぶプログラム ◆

(埼玉県生態系保護協会の皆様が実施)

- A 湿地の管理体験
- B 竹の除伐体験
- C 雑木林で落ち葉掃き体験
- D 竹の玉切り体験
- E ヨシ原の管理体験

(参加グループは後日決定)

湿地の管理体験

水害で人の足より深いヨシなどの葦を運び出し、水鏡を壊したりして、カエルやトンボが産卵しやすくなる環境づくりを体験します。



雑木林で落ち葉掃き体験

雑木林の地面に落ち葉を少し掃いてあげることで、落ち葉の下で眠る野鳥が、音を出して花を咲かせるための手助けをします。



竹の除伐体験事業

雑木林には、いろいろな種類の樹木や野草、野鳥や昆虫などがいらしています。ここ数年竹がどんどん広がってきていて雑木林が壊れてしまおうおそれがあるので、竹を伐って取り除きます。



竹の玉切り体験

モウソウチク(孟宗竹)の枝を払ったり、湿地で使うすのこや、雑木林で使う柵の材料として使えるように、一定の長さ玉切りをします。



ヨシ原の管理体験

茂ったヨシを刈って運び出し、水鏡が見えるようにすることで、さらに生きもの豊かな湿地を取り戻します。



◆ 昼食について (参加費無料、チケット配布) ◆

(IMと同様に終了後の親睦・交流も重要となります)

- ・1,000円のチケット(100円×10枚)配布、4種のキッチンカーから好きなものを選んでください(ケバブ、唐揚げポテト、クレープ、カフェ等)
- ・チケット以外に現金でも、ぜひ好きなものをご購入ください。

◆ 募金について ◆

- ・当日はインターアクトクラブの高校生と米山奨学生による募金を行うのでご協力ください。
- ・募金の内容は、ポリオ根絶募金およびウクライナ支援募金の2種とし、地区社会奉仕部門、ポリオプラス委員会の協力をいただきます。
- ・各クラブへ学生の参加申込書を送付し、サイズを確認の上、学生にポリオ・ウクライナTシャツを購入し配布します。

◆ 注意事項 ◆

- ・車での来場はできません。当事業の専用シャトルバスか公共交通機関、徒歩での来場をお願いします。
- ・当日は森林内での体験になります。ケガをしないよう、長そでや長ズボン、動きやすい靴、帽子などの用意、飲み物の用意をお願いします。また、小雨の際は雨合羽をご持参ください。

◆ 会員の皆さまにお願い ◆

- ・会員の皆様、そのご家族、会社の皆様など、一人でも多くの方に参加してもらうことが奉仕につながります。
- ・本事業は当クラブが輩出する内山ガバナー補佐が主催し当クラブが主幹するものです。実行委員に多くのメンバーが出向し役割を担っていますが、他のメンバーの皆様も自身が参加すること、誰かを誘うことが自分の役割だと思って頂ければ幸いです。
- ・参加目標 300名(大宮西RCの目標 200名) 前回、5年前のIMも例年の倍近いご参加をいただきました。「皆様のご協力をお願いいたします」